

全日ア連競技第 25-061 号  
2026 年 3 月 25 日

加盟団体各位

(公社)全日本アーチェリー連盟  
理事長 田中 伸周  
(公 印 省 略)

## 2026 年度 全日本ターゲット選手権大会 競技方式変更 およびバアボウ部門の大会構成について

平素より本連盟の事業運営にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。  
2026 年度全日本ターゲット選手権大会の競技方式変更ならびに、バアボウ部門の大会構成について、  
下記のとおりお知らせいたします。

### 1. 第 68 回全日本ターゲット選手権大会 競技方式の主な改定

2026 年度の全日本ターゲット選手権大会では、リカーブおよびコンパウンドの競技力向上をより一層推進するため、競技方式の見直しを行います。特に、国際大会で求められるマッチ戦の経験を積む機会を拡大することを重視し、予選通過人数の拡大やイリミネーションラウンドの再構成を実施いたします。

#### 【リカーブ】

- 予選通過人数：32 名 → 56 名に拡大
- 1/24 イリミネーションを実施（予選上位 8 名はバイ）
- 予選は従来どおり 2 立で実施する

#### 【コンパウンド】

- 予選を「1 立」で実施し、マッチ戦の時間を確保
- 予選通過人数を拡大（倍増）  
男子：16 名 → 32 名  
女子：8 名 → 16 名
- 男子は 1/16 イリミネーション、女子は 1/8 イリミネーションを実施する

### 2. バアボウ部門の再編について

2026 年度より、バアボウ部門は、従来の『全日本ターゲット選手権大会』および『全日本社会人ターゲット選手権大会』の一部として実施していた形から、独立した全国大会として位置付ける『全日本バアボウアーチェリー選手権大会』へと再編いたしました。  
これは、近年の競技人口の増加や競技レベルの向上を踏まえ、バアボウ競技の価値をより明確にし、全国大会としての参加機会を拡大することを目的としたものです。  
新大会は社会人ターゲット選手権大会と同時開催とし、より参加しやすい大会構成といたします。

#### 【第 1 回全日本バアボウアーチェリー選手権大会】

- 参加基準は社会人ターゲット選手権大会と同水準を適用
- 参加定員を拡大  
男子：24 名 → 48 名（倍増）  
女子：12 名 → 20 名

- 第1シードは、2025年度の全日本ターゲット選手権および全日本社会人ターゲット選手権の優勝者とする。  
※ 2027年度以降は、前年度の全日本バアボウ選手権大会優勝者を第1シードとする
- 地元推薦枠を設定し、地域選手の参加機会を確保

### 3. 第59回全日本社会人ターゲット選手権大会の定員調整について

全日本社会人ターゲット選手権大会では、2024年度にRC 壮年女子・CP50+男子、2025年度にはRC50+男女・CP50+女子を新設するなど、カテゴリーの拡充を段階的に進めております。こうした拡大期にある中で、大会全体の参加枠を適切に確保する必要が生じたことから、昨年度の参加状況を踏まえ、実際の参加需要に合わせて一部カテゴリーの定員調整を行いました。今回の調整は、カテゴリー拡大に伴う過渡的なバランス調整であり、特定のカテゴリーの参加機会を制限することを目的としたものではありません。

本調整は、

- 各部門の参加機会の公平な確保
- バアボウ部門の再編による大会全体の最適化
- 新設カテゴリーを含む大会構成の安定化

を図るためのものです。

今後も、参加状況や競技環境の変化を踏まえながら、より多くの選手が挑戦できる機会の拡充と、全国大会としての競技レベルの向上の双方を図り、より良い大会運営に努めてまいります。

以上